



4 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり



4 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり

収入保険加入促進事業		<u>1,500千円</u>
新規漁業就業者育成事業		<u>600千円</u>
魚食普及推進事業		<u>3,500千円</u>
集客体制構築事業	新規	<u>1,365千円</u>
中小企業支援事業		<u>10,000千円</u>
プレミアム付地域商品券発行補助事業	補正計上	<u>156,329千円</u>
ふるさと納税返礼品提供事業	拡大	<u>106,422千円</u>
勝田全国マラソン大会運営事業		<u>13,000千円</u>

4 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり

収入保険加入促進事業

甘藷の新たな病害である「基腐病」を含めた自然災害等による収入減少を補償する，収入保険への加入促進を図るため，保険料の一部を支援。

1,500千円

【担当】 農政課

新規

集客体制構築事業

コロナ禍でも新たな集客源としてニーズが高まっている，サイクルツーリズムや海岸の通年利用を推進するとともに，新たなイベントの誘致に取り組むなど，多様性のある安定的な集客体制の構築を目指す。

1,365千円

【担当】 観光推進課

4 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくり

中小企業支援事業

新製品等の開発や販路開拓のほか，昨今の事業者ニーズを考慮し，対象事業を一部改編して新たに人材確保及び育成に向けた，中小企業等の積極的な取組を支援。

10,000千円

【担当】 商工振興課

拡大

ふるさと納税返礼品提供事業

令和3年度は寄付額が1億円を突破。引き続き，地場産品の提供を通じて，本市の認知度向上や地域経済の活性化につなげるとともに，寄付件数と関係人口の増加に向け，返礼品の拡充や広報活動の強化に努める。

106,422千円

【担当】 企画調整課



5 快適で機能的な住みよいまちづくり



5 快適で機能的な住みよいまちづくり

佐和駅東西自由通路及び新駅舎整備事業	補正計上	<u>781,500千円</u>
佐和駅東口・西口駅前広場整備事業		<u>110,000千円</u>
土地区画整理事業（繰出金）		<u>1,986,829千円</u>
東中根高場線整備事業	補正計上	<u>232,950千円</u>
合併処理浄化槽整備事業	拡大	<u>120,018千円</u>
コミュニティ交通運営事業		<u>158,792千円</u>
湊線支援事業	補正計上	<u>94,724千円</u>
自立・分散型エネルギー設備導入促進事業		<u>2,500千円</u>
プラグインハイブリット車導入事業	新規	<u>8,560千円</u>



5 快適で機能的な住みよいまちづくり

補正計上

佐和駅東西自由通路及び新駅舎整備事業

J Rとの施行協定に基づき、令和5年春の供用開始を目指し引き続き整備を進める。(総事業費約28億円)

781,500千円

【担当】都市計画課

補正計上

東中根高場線整備事業

高場陸橋の4車線化について、令和3年9月にJ Rと締結した施行協定に基づき、橋桁の架設工事に着手し、令和6年度中の供用開始を目指す。
(総事業費約23億円)

232,950千円

【担当】都市計画課



5 快適で機能的な住みよいまちづくり

新規

プラグインハイブリット車導入事業

プラグインハイブリッド車を公用車として導入するなど、温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を進める。
(2台購入予定 4,280千円/台)

8,560千円

【担当】管財課



6 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり



6 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり

コミュニティ活動推進事業		<u>209,502千円</u>
自治会ICT環境整備推進事業		<u>2,575千円</u>
旧県立那珂湊第二高等学校跡地利活用事業		<u>226,142千円</u>
公共施設マネジメント事業	新規	<u>17,996千円</u>
情報発信推進事業		<u>1,320千円</u>
マーケティング推進事業	拡大	<u>22,337千円</u>
まちへの愛着（シビックプライド）醸成事業		<u>3,035千円</u>



6 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり

新規

公共施設マネジメント事業

公共施設のうち半数以上の建物は、建設後40年以上経過していることから、建替えも踏まえた将来的な公共施設の維持管理に係るコストや適正な施設保有量を把握するため、専門的な知見を有する民間事業者のノウハウを活用しながら、施設保全計画の策定に着手。

17,996千円

【担当】管財課



6 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり

マーケティング推進事業

拡大

「いいところ発信隊」による住民目線での魅力発信や、東京圏等に向けたWeb広告等を活用した情報発信など、効果的なプロモーションを行い、移住・定住の促進に向けて、市内外に本市の魅力を発信する。

(新規事業)

- ・民間企業のオンラインコミュニティを活用した官民連携事業 2,000千円
移住検討者のニーズ調査や民間企業の発信力を活かしたプロモーションを実施。
- ・ファン共創事業 ※詳細はP.27 302千円
- ・絆構築プロジェクト ※詳細はP.28 4,109千円

(継続事業)

- ・まちの魅力発信（シティプロモーション）事業 4,588千円
- ・市民サポーターによるSNSを活用したまちの魅力発信事業 927千円
- ・マーケティングアドバイザー関連 1,012千円
- ・学生エール便 4,680千円
- ・わくわく茨城生活実現事業移住支援金 3,200千円
- ・移住フェア、移住マッチングフェア等での情報発信 584千円
- ・お試し移住事業 935千円

22,337千円

【担当】企画調整課

3月定例記者会見資料

6 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり

ひたちなかファン共創事業

【R4事業費】302千円

事業の概要

- ▶ ひたちなか市のまちづくりに共感し、関わる機会を望んでいる方々が集まる場を作る

民間で用いられる「ファンを大切にし、ファンをベースにして中長期的に売り上げや価値を上げていく考え方」と言われる「ファンベース」を取り入れる。

ファンを大切に・そして満足してもらうために

- ▶ ファンが自分たちでやりたいことをしっかりと聞き、つなげる場を作る。
 - ・有機的にファン同士がつながるワークショップやイベント・ファンの集いの開催
- ▶ ファンが行うまちづくりや関係人口創出につながる取組を市内外に発信する。
 - ・市Webサイトにファンの情報を発信するコンテンツを構築



- ▶ ファンの満足度を高めることによる自発的なプロモーションへの期待
- ▶ ファン同士の新たな結びつきによる、地域の課題解決や地域の担い手確保
- ▶ ファンの取組を市webサイト等で外部へ発信することにより、市への関心・関係人口創出に結びつける



ファンと新たなまちの価値を共創

6 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり

～TUNAGARU Hitachinaka～絆構築プロジェクト 【R4事業費】4,109千円

事業の概要

- ・進学等に伴い東京圏に転出する市内出身の学生や都市部在学学生等とつながる場を作る
- ・学生エール便の申込者（800人）等から参加者を募集（5名程度）
- ・市外出身都市部在住学生からも参加者を募集（5名程度）
- ・市内出身者，市外出身者の交流により，本市への深い関係性を構築する
- ・市内企業が取り組むSDGsなどと絡めながら，インターンシップや課題解決フィールドワークを展開
- ・市民・地域と多様な関係性を築くとともに，本市の魅力再認識
- ・学生にとっては，就活等の自己PRとしてメリット



- ▶Uターンやシビックプライドの醸成等に結び付ける。
- ▶事業終了後には参加学生と継続的なコミュニケーションが取れる対面での交流の場「(仮称)Love&Peace Hitachinaka Club」を創設
- ▶市内中小企業の人材確保にも資するものとする。



6 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくり

まちへの愛着(シビックプライド)醸成事業事業

シビックプライドの更なる醸成に向けて、誰もが自分らしく活躍できる持続可能なまちを考えるきっかけづくりとして、SDGsと関連付けたシンポジウムを開催。市民と共に創ったキャッチコピー「ひとが咲くまち。ひたちなか」とロゴマークをイベント等において積極的に使用し、市民への浸透を図る。

3,035千円

【担当】 企画調整課